

2日目：12月7日（土）

りょういきべつぶんかかい  
1. 領域別分科会（10：00～14：15）

だい ぶんかかい きょういくないよう じゅぎょう  
・第1分科会 －教育内容・授業－

ほうこく  
報告1 「異文化コミュニケーション授業の必要性について」

おおさかきしわだしりつきしきちゅうがっこう  
大阪岸和田市立岸城中学校

せいとすう めいちゅう にほんじん じん めい ちゅうごくじん めい  
・生徒数 65名 中 日本人17% ネパール人14名 中国人10名

ほか など ぜんぶ こく  
他インド、フィリピン、ブラジル等（全部で14カ国）

ねんれい さい さいた さいいじょう めい へいきんねんれい さい  
・年齢 16～29歳 19%が最多 70歳以上は10名 平均年齢は44.8歳

じゅぎょうかてい かもく がかつ そうごう すうがく しゅうじゅくどべつ へんせい  
・授業課程 9科目＋学活＋総合 数学のみ習熟度別で6コース編成

はじめの会 5：20 にち じげん ふんじゅぎょう じげんご しょくじ きゅうけい  
・始めの会 5：20 1日4時限（40分授業） 2時限後 食事・休憩あり

じげんしゅうりょう  
4時限終了は8：30

にほんご ぼこくご せいと しきじもくてき  
日本語を母国語としない生徒のために AB コースを識字目的のために1, 2, 3コースを

へんせい がいこくじんせいと にほんじんせいと こうりゅう くに ちが  
編成しているために外国人生徒と日本人生徒との交流がほとんどない。国の違いによる

ぶんか ちが にほんじんどうし ちいき ねんたい しょくぎょう ちが い ちが ちが  
文化の違いだけでなく、日本人同士の地域、年代、職業などの違いによって相手を理解で

きず、すれ違いが起こっている。

そこで実際に起こった事例を通して文化の背景、物の見方を学習し誤解を回避する。

ねん かい めい がくしゅう つうやく  
・年4回 4～5名 グループ学習（通訳がつくこともある）

1. 相手の文化的立場に立つ見方、考え方を理解する

2. 国によるコミュニケーションスタイルの違い、日本文化特有のコミュニケーション行動

りかい  
などを理解する

3. 食習慣について—異文化に対する感受性を高める

4. トレーニングを行い理解を深める

4回の授業に対する感想は総じて大変意義あるものと認められた。この学習を通して、色々な文化、見方があることを学び理解し合えた。

札幌遠友塾も異文化に対する理解不足が少なからず誤解、不満につながるケースがあると思う。個々の事例について、相互理解のためにていねいな対応が必要と感じている。

報告2 「車生活乗り越えて—ようこそ夜間学級へ N君への取り組み—」

ひろしましりつかんのんちゅうがっこう  
広島市立観音中学校

広島県内には「NPO法人 反貧困ネットワーク広島」が運営する1ルーム10室の「シェルター」がある。そこに2012年2月、生後間もなくから約20年間もの長期にわたる父親との車生活に終止符を打ち入所したN君。今年戸籍、住民票を取得して夜間中学へ入学した。それまでの彼の人生は、学校にも行かず(行けず)、食事はコンビニ、たまのお風呂、父親のパチンコ収入で生きてきた。20歳になったある日、待ち合わせをしていた場所に来ない父親を3日待ったあと捨てられたと認識した(20歳になったので自立せよとのことではないかといわれ納得した)。

車生活中に保護もされず、一人になってからも大阪、京都、奈良、兵庫など「夜中」のあるところでも生活をして、ネットカフェ、カプセルホテル、知人、友人宅に宿泊したり、仕事についたりしていた。広島でシェルターに入り、「夜中」の存在を知ったが戸籍取得まで1年2ヶ月待つことになる。

読むことは中1程度出来たが、漢字の書き取りは小4の半分程度。学びに対するモチベーションは高く、ハイスピードで学習内容を吸収している。礼儀正しく、人間性豊かな好青年、多くの善意の人達の存在が彼を支え、「夜中」まで導いたといえよう。2年後の夜中研は京都との事。その時にN君の口から直接体験発表、報告が聞けるかもしれないとのこと、頑張り屋さんの成長を見てみたいものです。

いわさ  
(岩佐 タカ)

だい ぶんかかい ざいにちちようせんじんきょういく  
・第3分科会 ー在日朝鮮人教育ー

① ほうこくしゃ とうきょう あだちよんちゅう  
報告者 朴元綱(東京・足立四中)

とやちゅうけん がいこくじん きこくしゃちようさ  
「都夜中研 外国人・帰国者調査について」

ざいにち せんぜん にほん ひと しめ ことし とうきょう やかんちゅうがく  
「在日」とは、戦前から日本にいた人のみを示すということで、今年(ことし)は東京(とうきょう)の夜間中学(やかんちゅうがく)では一人(ひとり)しか在籍(ざいせき)していない。しかも高齡(こうれい)で現在(げんざい)は通学(つうがく)していない。

さいきん ちようせん ことば つか きぐ  
最近(さいきん)は、「朝鮮(ちようせん)」という言葉(ことば)が使(つか)われないこと(きぐ)を危惧(きぐ)している。

ほうこくしゃ りょうしん かんこくじん けいけん じぶん こども じんぞく  
報告者(ほうこくしゃ)も両親(りょうしん)とも韓国人(かんこくじん)で、いじめ(けいけん)を経験(けいけん)した。しかし、自分(じぶん)の子供(こども)たちには、民族(じんぞく)としてのアイデンティティ(アイデンティティ)をもちつづけてほしい(おも)と思う。

こうれい ざいにち ひと かよ て たと くるま かよ ほうもんがつきゅう  
高齡(こうれい)の在日(ざいにち)の人(ひと)たちが通(かよ)えるような手(て)だて(たと) (例えば、車(くるま)いすで通(かよ)えるかどうか、訪問学級(ほうもんがつきゅう)の可能性(かのうせい)は?)を考(かんが)えたい。

② ほうこくしゃ ふくにしゆ き こ なら てんりきたちゅう  
報告者 福西由紀子(奈良・天理北中)

ざいにちちようせんじんいっせい れきし のこ  
「在日朝鮮人一世(ざいにちちようせんじんいっせい)の歴史(れきし)を残(のこ)す」

てんりしきたちゅう ざいにちいっせい めい なら こうりつ こう なか いちばんひりつ たか へいきんきんねん  
天理市北中(てんりしきたちゅう)には在日一世(ざいにちいっせい)が6名(めい)おり、奈良(なら)の公立3校(こうりつ こう なか)の中では一番(いちばん)比率(ひりつ)が高い(たか)。平均年(へいきんきんねん)齡(れい)89歳(さい)、高齡化(こうれいか)が進(すす)んでいる。

もくぞうせん みず も ぼうし つか せいさん ひと  
木造船(もくぞうせん)の水漏れ防止(みず も ぼうし)に使(つか)われた『ひのきなわ』の生産(せいさん)にかかわっていた人(ひと)がいたことから、  
ざいにちいっせい れきし のこ かん がっこう しきち はたけ つく う き  
在日一世(ざいにちいっせい)の歴史(れきし)を残(のこ)そうと考(かんが)えた。学校(がっこう)の敷地(しきち)に畑(はたけ)を作(つく)ってトウガラシ(とうがらし)などを植(う)えたり、聞(き)き取り集(と しゅう づく)を作(つく)ったり、また、周り(まわ)の人(ひと)たちにも理解(りかい)してもらおうと、夜間中学生講座(やかんちゅうがくせいこうざ) (後に  
やかんちゅうがくせい まな しみんこうざ  
夜間中学生(やかんちゅうがくせい)から学(まな)ぶ市民講座(しみんこうざ))など(な)をした。

さくぶん さいしよ ぶんしょう も じ  
作文(さくぶん)のコピー(コピー)をもらいましたが、最初(さいしよ)ぎこちなかった文章(ぶんしょう)が、文字(も じ)もきれいになってい  
き、  
きょうかしよ じぶん なか と く じっせん み むす  
「教科書(きょうかしよ)は自分(じぶん)の中(なか)にある」という取(と)り組み(く)の実践(じっせん)が実(み)を結(むす)んでいる。

にほんこくせき も ざいにち しゅうがくもんだい いま き わ じんぞく  
日本国籍(にほんこくせき)をもち、在日(ざいにち)の就学問題(しゅうがくもんだい)など、今(いま)まで気づ(き)づかなかったこと(こと)が分(わ)かった。民族(じんぞく)  
きょういく せいさく きょうつう もんだい ほっかいどう もど なに かんが  
教育(きょういく)など、アイヌ政策(せいさく)と共(きょうつう)通(つう)の問題(もんだい)があること(こと)がわ(わ)かり、北海道(ほっかいどう)に戻(もど)って何(なに)ができるか考(かんが)える参(さんこう)考(こう)になった。

だい ぶんかかい ひきあげきこくしゃきょういく しんとじつしゃきょういく  
・第4分科会 ー引揚帰国者教育・新渡日者教育ー

ちゅうごく ひきあげきこくしゃ たい にほんしゃかい じりつ じ こじつげん む  
『中国などからの引揚帰国者や新渡日者に対し、日本社会での自立や自己実現に向け  
やかんちゅうがく かだい まなび みちすじ かんが はな あ  
夜間中学の課題と学びの道筋を考えよう』をテーマに話し合いがもたれました。

とうぎ はしら ちゅうごくきこくしゃ きょういくかだい なに せいと せいかつはいけい  
討議の柱に①中国帰国者や新渡日者への教育課題は何か。生徒の生活背景をどのよう  
よ と よ そ にほんごしどう いぎ がくしゅうないよう しどうほう  
に読み取り、寄り添うか。②日本語指導の意義、その学習内容、指導法はどうあるべきか。

こうりつやかんちゅうがくこう やくわり いちづ なに あき いじょう さんてん せってい  
③「公立夜間中学校」の役割・位置付けとは何かを明らかにしよう。以上の三点を設定  
はな あ  
し話し合われました。

せたがやくりつみしゆくちゅうがくやかんがつきゅう ほうこく すうねんまえ  
◎世田谷区立三宿中学夜間学級の報告では数年前はほとんどいなかったネパールから  
せいと ふ みしゆくちゅうがく めい ざいせきせいと めい せいと  
の生徒が増えている。三宿中学でも83名の在籍生徒のうち、31名がネパールの生徒が  
し どうきょうと こう やかんがつきゅう せいと らいにちまえ きよじゅうこく  
占めている。東京都8校の夜間学級の生徒の来日前の居住国をみると、ネパールからの  
せいと  
生徒は2008年は1人でしたが2013年には51人まで増えています。この生徒数は  
やかんがつきゅうぜんたい ちゅうごく ばんめ  
夜間学級全体で中国、フィリピンについて3番目となっています。このことはネパール  
りょうり りょうり はたら ぎのう たいざいしゃ かぞく らいにち  
料理やインド料理レストランのシェフとして働く技能ビザ滞在者の家族として来日した  
かぞくたいざいしゃ おおはぼ ぞうか かんが じっさい かくち りょうりや きゅうぞう  
「家族滞在者」が大幅に増加していると考えられ、実際に各地でネパール料理屋が急増  
しており、ネパール人生徒はこれからも増える事が考えられる。

ふきそく はたら かた おやご がっこう く せいと せいかつ  
・不規則な働き方をしている親御さんは学校に来ることがほとんどなく、生徒の生活がみ  
えない。

にほん す きぼう おや つごう かえ かのうせい しょうらい よてい た  
・日本に住みたいという希望があっても、親の都合で帰る可能性もあり将来の予定が立て  
られない不安。

おお せいと えいご りかい かんじ しゅうとく きび  
・多くの生徒は英語が理解できる。しかし漢字の習得が厳しい。

にほんご かんぜん ため びょうき とき ふあん おも  
・日本語が完全ではない為、病気になった時に不安な思いをしている。

にゅうかん たいおう にゅうこく きび おや たいざい えんちょう かのうせい  
・入管の対応で入国が厳しくなったら、親の滞在が延長されなくなる可能性もあり、  
ふあんてい たいざい しかた  
不安定な滞在の仕方である。

にほん しんがく しょうらいてき おこな がっこう にゅうがく で  
日本で進学をし、将来的にはビジネスを行いたいという、学校に入学したことで出て  
きぼう しえん きんねん ふ  
きた希望を支援していく。近年、ネパールだけでなく、増えてきているベトナム人や新渡  
ひと しえん せいかつめん てだす かんが  
日の人への支援、生活面の手助けも考えていきたい。

りゅうしゅうれい どうほかい そうだんいん みしゅくちゅうやかんがつきゅう せいと  
◎劉秀玲さんは、「同歩会」の相談員であり三宿中夜間学級の生徒でもあります。

どうほかい ちゅうごく きこくしゃ かぞく あゆ ねりま かい かつどう ことし  
「同歩会」は中国「帰国者」・家族とともに歩む練馬の会です。活動は今年10月で1  
ねんめ せんご こんらん にっちゅうこつこうだんぜつ ちゅうごくたいりく と のこ  
8年目になります。戦後の混乱と、日中国交断絶により、中国大陸に取り残されそこ  
せいかつ ひと きこく ことば つう しごと きょういく にほん  
で生活してきた人たちは、帰国しても言葉が通じず、仕事もうまくいかず、教育も日本と  
ちゅうごく はざま お さ なや はな ときだんち しゅうかいじょ はじ ちい  
中国の間に置き去られ、悩みも話せずいた。そんな時団地の集会所で始めた小さな  
にほんごきょうしつ ひろ せいかつそうだん つうやくはけん きこくさんせい きょうしつなど  
日本語教室からニーズが広がり、生活相談・通訳派遣・帰国三世の子どもの教室等、  
きこくしゃじしん ちから すこ ちから かつどう はば ひろ どうほかい じゅうすうねん  
帰国者自身の力で、少しずつ力をつけ、活動の幅も広がってきまし。同歩会は十数年の  
けいか なか う かた きずな たいせつ ちいき く さまざま  
経過の中で生まれた堅くあたたかい絆を大切に、地域で暮らしやすくするため様々な  
きょうしつ ぎょうじ おこな い ほうこく  
教室や行事を行って行くとの報告がされました。

こうべしりつひょうごちゅうがくきたぶんこう ひ あ きこくしゃ にほんごがくしゅう ほうこく  
◎神戸市立兵庫中学北分校からは「引き揚げ帰国者・新渡日者」の日本語学習への報告  
きょういくかてい しゅう じかん きょうか ないよう こくご すうがく えいご きょうか  
がされた。教育課程は週20時間、11教科の内容ですが、国語・数学・英語の三教科  
しゅうじゅくどべつ へんせい じゅぎょう おこ  
はA～Fの6クラスの習熟度別に編成され授業が行われています。

こくご にほんじん ほか がいこくせき せいと がくしゅうしどう  
なかでも国語はFクラスだけが日本人、他の5クラスは外国籍の生徒です。学習指導のた  
にほんごしどう ひつよう おも にほんごがくしゅうきょうしつ じっし きょうしがわ にほんご  
めに日本語指導が必要と思われ、日本語学習教室を実施しています。教師側も日本語  
しどう けんしゅう おし かた べんきょう にほんごきょうしつ しどう おこな  
指導のための研修としてYMCAで教え方を勉強し、日本語教室での指導を行って  
ねんど しょくいん がいぶこうし ねんかん じっし ねんど  
ます。24年度は職員と外部講師2名で年間152回実施され、25年度は11月で10  
こ さんかせいと さくねんど ふ たんとう ぜんしょくいん がいぶこうし  
0回を超えています。参加生徒も昨年度よりも増えてき、担当も全職員と外部講師3名と  
がくせい しどう  
学生ボランティア3名が指導しています。

にほんごきょうしつ しゅう じかん きょういくかていがい がくしゅう ぜろじかんめ じかん じゅぎょう  
日本語教室は、週20時間の教育課程外の学習のため0時間目という時間を授業  
じかんまえ もう ぶん まいにち ぎょうじ きかん のぞ おこな  
時間前に設け、16:00から16:50分までの毎日(行事・テスト期間は除く)行  
じゅぎょう りかい ねん にほんご ひつよう い にほんご  
われています。授業を理解するには10年の日本語が必要と言われるとき、日本語のわか  
こ きょうかきょういく かんが とき きょうしぜんいん にほんご おし かた べんきょう  
らない子への教科教育をどうするか考えた時、教師全員が日本語の教え方の勉強が  
ひつよう おも  
必要と思われる。

かえ ひこうき じかん ごぜんちゅう さんか かえ ごご しつぎおうとう ぜんたいとうぎ  
帰りの飛行機の時間で午前中の参加で帰ってきましたが、午後は質疑応答、全体討議、  
そうかつとうろん はな あ すす おも  
総括討論と話し合いは進んだと思われます。

ほっかいどうきつぽろ えんゆうじゅく しんとじつ ひと おお かん こと  
北海道札幌の遠友塾では新渡日といわれる人を多く感じる事はあまりありませんが、  
にほんご おし かた ひつよう おも  
日本語の教え方は必要になってくるのではないかと思いました。

よしだ えみ こ  
(吉田 恵美子)

## ● 第5分科会 ー増設・教育条件・啓発活動ー

だい ぶん か かい ぞうせつ きょういくじょうけん けいはつかつどう ぶんかかい かくちぞうせつうんどうじしゅやかんちゅうがく  
第5分科会「増設・教育条件・啓発活動」分科会のテーマは、各地増設運動自主夜間中学、  
しきじがっきゅう れきし げんじょう こうりゅう ぞうせつ む かい あり  
識字学級の歴史や現状を交流し増設に向けて課題を明らかにすること。また、夜間中  
がくせい まなび ほしょう きょういくじょうけんせいび ひつよう かくち と く  
学生の学びを保障するためにどのような教育条件整備が必要か。各地の取り組みについて  
こうりゅう  
交流した。

とうきょうと と く こんねんど と やちゅうけん かつどう とうじょうきよし あだちくりつだいいんちゅうがっこう  
●東京都の取り組み：「今年度の都夜中研の活動から」（東條清氏・足立区立第四中学校  
やかんがっきゅう  
夜間学級）

やかんがっきゅうせつめいかい ちゅうしん ほうこく やかんがっきゅうせつめいかい もくてき ふとうこうせいと しんろ  
夜間学級説明会を中心に報告がなされた。夜間学級説明会の目的は、不登校生徒の進路  
ひと やかんちゅうがく ひろ しゅうち たいしょう ぎ む きょういく  
の一つとして、「夜間中学」を広く周知させるためのものである。その対象は、義務教育  
お ひと ふとうこうせいとほんにん ほごしゃ ちゅうがっこう せんせい きょういくそうだんいん かくきょういく  
を終えていない人、不登校生徒本人やその保護者、中学校の先生や教育相談員、各教育  
きかん ちいき かた しゅうちほうほう ぜんと ちゅうがっこう かくしゅきょういくきかん どう  
機関や地域の方たちである。周知方法は、全都の中学校・各種教育機関、マスコミ等など  
はいふ とく こんねんど ねりまくほう やかんがっきゅう せいとぼしゅう こうこく おおく  
へチラシを配布している。特に今年度は練馬区報に夜間学級の生徒募集の広告を打ち、多く  
せいと ねりまく やかんがっきゅう き くないぜん こう ちゅうがっこう やかんがっきゅう  
の生徒が練馬区から夜間学級に来ている。また、区内全36校の中学校に夜間学級のPRに  
こう がっこう ふとうこうせいと ざいせき さまざま  
いったところ、32校の学校に不登校生徒が在籍していることがわかった。このような様々な  
かつどう と く やかんがっきゅうせつめいかい めい やかんがっきゅうかんけいしゃ めい い  
PR活動の取り組みによって、夜間学級説明会には70名ほど（夜間学級関係者13名、それ以  
がい めい さんかしゃ あつ にゅうがくきぼうしゃ めい さんかしゃ かんそう  
外59名）の参加者が集まった。そのうち、入学希望者は4名であった。参加者の感想では、  
やかんちゅうがく じんせい 「夜間中学が人生のターニングポイントになっていることがわかり、その存在の大きさを  
じっかん さいたまざいじゅう さいたま がっこう ことば き  
実感した」、「埼玉在住ですが、埼玉にもぜひ、こんな学校を」といった言葉が聞かれた。  
とうきょうと かつどう やかんちゅうがっこう きょういくかつどう じゅうじつ とうきょうと きょういく  
その他、東京都の活動として、夜間中学校の教育活動の充実をめざすために、東京都教育  
いいんかい かんけい く しちやうそんきょういくいいんかい ようぼうしよ ていしゅつ  
委員会、関係区市町村教育委員会に要望書を提出している。

●大阪市の取り組み：「①夜間中学生の学びを保証するためにどのような条件整備をするのか。②夜中からの発信、交流取り組みについて」(高谷徳枝氏、内田陽子氏 大阪・長栄中)

①について：「夜中の学び」を(1)昼の児童生徒たちに向けて発信(中学2年生との交流・小学校5年生との交流、サマースクール、朝鮮文化に親しむ東大阪子どもの集い、生活体験意見発表会)、(2)大人向けの発信(地域交流・初任者研修)をしている。

②について：設置市に対する働きかけをしている。生徒にとって通学しやすい教育環境づくりに対する取り組みとして「市教委との話し合い」での成果を報告している。長栄・太平寺

夜間の生徒会は合同で、「東大阪市への要望書」を作成し、校長を通じて学事課へ提出し、その後、管理職・教諭・生徒が教育委員会を訪れ「東大阪市との話し合い」がもたれる。

生徒は直接教育委員会に要望することができる(年2回の話し合いが持たれている)。

要望書の中心は「就学援助の復活」である。これまで大阪府下の夜間中学生への就学援助

は、大阪府と設置市が半分ずつ負担していたが、大阪府が就学援助費を負担しなくなるこ

とにより、設置市が単独で就学援助費を負担することになると、就学援助費の捻出に困難

が生じるようになり、就学援助費が保障されないことを意味していた。当時の生徒会

連合会も考えられることをやり、大阪府教育委員会も各市町村に働きかけるなどして、

就学援助の「居住市負担」という形ができあがった。これによって、交通費の問題は阻止で

きたが、居住市により就学援助は異なるため生徒間に格差が生じている。その他の要望で

改善されたものとして、「中国生徒に対する職務質問(学生証に学校の連絡先を付記)」、

「生徒募集の取り組み(広報等に生徒募集を掲載する)」など改善された。

●松戸市の取り組み：「松戸市に夜間中学をつくる市民の会(以下)、市民の会取り組みの現状とこれからの課題」

「市民の会」が30年前から開設要求を続けてきている市立中学校夜間学級の開設と現在

松戸市教育委員会が調査・研究を続けている市立三部制中学校の問題をめぐっての報告

がなされた。

よこぜき りえ  
(横関 理恵)

## 2. 全体会C (14:15～15:30)

11月19日の衆議院文部科学委員足立四中夜間学級視察の映像を見ました。

8月の国会院内集会はじめ、少しずつ夜間中学の必要性が分かってもらえる機会が増えています。

横浜市立中学校夜間学級統廃合については、教育委員会で決定されてしまいましたが、今後要望を続けていくということで、特別アピールが採択されました。私は横浜市出身なので、今回のことは特に気になっています。

その一方で、千葉県松戸市では、今までどんなに必要性を訴えても相手にしてくれなかった市が、大津市のいじめ事件で、新しい学校を模索するということも報告された。

その他、再来年は京都で60年記念大会が開催されること、それに向かって、資料のデジタル化などの理事会報告などがなされ、次期開催地は東京の大田区に決定したことが報告され、閉会した。